

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第37号

2015.11.13 (金) 発行

鈴木晃彦先生 ご講演ありがとうございました！



昨日1～3年保護者を対象としました「保護者進路講演会」を行いました。1学年は90名を超える保護者の皆様からご参加頂きました。鈴木先生は8年前に本校で教職員向けにご講演頂きまして、先生の教育観や人生観は今の私の大きなバックボーンとなっています。今回保護者および1, 2年生、教職員向けと3日間の日程で来校頂きました。本当に感謝です。今、手元に保護者の方の感想がありますのでご紹介させていただきます。

1組保護者

この講演の案内を見て、いつも忙しい時間帯な事もあり欠席するのが常でしたが、今回の講演会は何とか時間を作って行こう！と思いました。「成長しようとする子供といかに関わるべきか?」。今、とても気にかかっている内容だったこともあると思いますが、なぜかピン！とアンテナに引かかった感じでした。講演がはじまってすぐに「当たり！」と思ってしまうほど鈴木先生のお話は高校生の子を持つ親にとって、とても興味深いものでした。子供との関わり方、先生自身の話も交えて話して下さったのが、同じ子を持つ親として、先生も同じなんだなと、ちょっと安心したりもしました。入学してから、あつという間の7ヶ月が過ぎ、高校3年間もきつとあつという間！大切な3年間をどう過ごすかで大きく変わる大切な時間。子供が幸せになる種を蒔いて、摘んでしまわぬように見守っていきたいと思います。手を離しても心は離さぬように・・・。

1組保護者

子供と本気で向き合っているのか。その前に親である自分が自分の人生ときちんと向き合っているか、と考えさせられました。子供が自分の将来に悩み迷っている今だからこそ、親のぶれない姿勢を語らずとも日々見せていかないといけない。それを子供に感じてもらえる様にならなければと思いました。貴重な講演をありがとうございました。

2組保護者

入学して8ヶ月がたち、必死に頑張っている子供ですが、疲れも出てきていて、何となく子供とのコミュニケーションがうまくいかないと思う毎日でした。講演を聴いて、目先のことだけしか見えなくなっていることに気がつきました。今日、子供が先生のお話を聴いて家に帰ってから共通の話をしようと思うとワクワクします。元気も出ました。90分という時間が、こんなにアツと言う間だったのは久しぶりです。来年もまたお願いします。ありがとうございました。

3組保護者

息子が生まれたのが昨日のように、子育てはあつという間で、今でも生まれてきてくれたことの喜び・感動、とにかく健康で育てて欲しいと願い一生懸命子育てをしてきました。夜遅くまで働き、コミュニケーションは寝前の会話。鈴木先生のお手紙を聴いたときは涙が溢れてきました。息子の成長と共に、息子のことが私自身分からなくなり、悩み、一生懸命言葉にしたり行動することが逆効果でした。高校生は「がんばる根」。口を出すのではなく、良く聞いて冷静に意見を述べる。手を貸すのではなく、自分で行動する。親として息子にどんなふうに襁を渡すかできていないことは見直し、行動していることは続けていきたいと思っています。鈴木先生、本日は心よりありがとうございました。息子を信じ、息子を1人の人間として、そして本当の愛を込め支えていきたいと思っています。

4組保護者

自分がものすごくブレていることに悩んでいたのが、気持ちがラクになりました。愛情を持って子供と向き合い、いっしょに悩んで答えを探していくような子育てができればいいなと思います。そうすれば、子供自身が一番の答えを出してくれるのではないかと考えました。社会に出てからの厳しさは、今以上に先輩として教えていこうと思います。ありがとうございました。

4組保護者

子供達の進路指導でお忙しい中、保護者にまでこのような機会をつくっていただき、本当にありがとうございました。久々です。講演会を聞いて涙したのは、先生が子供にあてて書いた手紙。そして最後の話。涙をこらえることができませんでした。母親を亡くした子供さんほどではありませんが、我が子にも似たような先生との出会いがあり、それがきっかけで、自分の殻を破ることができ、現在の娘があります。改めて、興譲館のオープンスクールに行き「私はここに入りたい」と強く思った彼女の選択を応援したいと感じました。私も大学受験を経験したので、学校によって、こんなにも受験や将来に対する考え方や指導が違うことに正直驚かされました。私も今日教えて頂いたことを知っていたら人生変わっていたかとも思いながら聞きました。親として初めての経験ばかりです。頭では理解できても、つい口を出したり感情で物を言ったりしてしまいます。なかなか親業とは難しいと思いました。が、まず意識を変えること・できることから少しずつはじめたいと思います。ありがとうございました。

5組保護者

今日はとても良い講演を聞かせて頂きありがとうございました。私は結婚してからずっと専業主婦で子育てに専念(?)してきました。とくに2年前からは夫が海外へ単身赴任しており無我夢中で私なりに頑張ってきたつもりですが、最近思春期の子供達に、どのように向き合えばいいのか分からなくなっていて疲れてきていました。ですが、今回の講演を聞いて親としてどうあるべきか再確認できたような気がします。とくに印象に残った言葉は「親は子供に一生懸命生きている姿を見せること」「親は1回しかできない」「本音を理性的に語る」「思春期の親の行動は重い」ということ。「勉強のことは先生にまかせて何も言わないこと」「親にできることは勇気づけることと、健康に気をつけることだけ」、本当にそうだなと思いました。私は今まで間違っていました。これからは、もっと前向きに生きていこうと思います。また良い講演を聞かせて下さい。ありがとうございました。

<長井・飯豊・白鷹っ子の夢>

10月16日（金）長井市で「長井・飯豊・白鷹保護者会」が開催され、多くの1年保護者の皆様にご参加頂きました。いずれの生徒も遠距離通学ではありますが、朝早くから登校し意欲的に学習しています。これからの季節はさらに大変でしょうが、諸君達は頑張れるよな！

1組 K. M さん

私には将来就きたい職業などの具体的な夢がまだありません。なので、学校生活や部活、自治会、インターハイの高校生活動に積極的に取り組み、その活動を通してまずは、多くのことを経験していきたいです。この高校生活で自分の将来像を描けるように頑張りたいです。

3組 W. K さん

私は将来数学者になりたいです。中学の頃ピタゴラスの定理に出会い、そのすごさに感銘を受けることを決意しました。私自身数学者と言う職業について、良くわかりませんが職業についても含め、様々な事を学習しながら自分の立てた計画通りに直実に歩を進められるようにがんばりたいです。

2組 M. G さん

自分はまだはっきりと「これになりたい」というものはありません。2年生では理数科に入ります。そこで色々見たり、聞いたり、体験したりしながら何になるかを決めていきたいと思っています。

5組 Y. T さん

僕にはまだ明確な将来の夢がありません。しかし、この学校で新しい仲間と出会い、自分の夢を見つけ実現したいと思っています。朝の通学にはなかなか慣れず「時間を有効に使う」という課題があります。電車の中でも単語を覚えたり参考書を見たりと短い時間でも暗記に使っています。やはり「我慢」が大事だと思います。僕は、これまでのFSや講演を聞いて、「高い学び」を実践することがいかに大事か考えさせられました。東北大学のオープンキャンパスに参加したり難関大の説明会に積極的に参加して、最近では教育学や心理学などに関心があります。これからも自分の進路を築けるように様々なことに力を注ぎながら勉学に励んでいきたいです。

2組 A. H さん

私の将来の夢は技術関係の公務員になることです。この自分の夢の決定には母が大きく関わっています。私は幼いころ、よく母の職場に遊びにいきました。また、中学校の時の職場体験で河川に関する仕事はやりがいがあったかっこよいと思いました。なので、私は尊敬する母のような公務員になりたいです。

4組 N. H さん

私の夢は薬剤師になることです。中学の時、山形大学の附属病院を見学させてもらっていろんな機械を使いながら患者さんのために影から支えているそんな仕事がかっこよいと思ったからです。自分の夢を実現するためにもこれからの3年間でたくさん学んでいきたいと思っています。

5組 O. H さん

先日ようやく理数科に入ることを決めました。次は大学の希望決定です。私はまだ将来の夢と言えるものはありませんが、一つ一つの目の前の目標をクリアしていき、その課程で将来の夢を見つけていきたいです。日々の努力を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

1組 F. S さん

将来の夢は、地方公務員になることです。理由は僕が生まれた山形県のために仕事がしたいからです。そのために興譲館でしっかり勉強して、よりレベルの高い大学に行けるように頑張りたいです。

4組 T. R さん

私の夢は動物に関わる仕事に就くことです。具体的にはまだ決めていませんがこれから決めます。私は幼い時から動物と触れ合うことが多く、動物の体や種類の違いを観察して見るのが好きでした。今も動物についてもっと学びを深めたいと思っているので、これから多くを学習して夢を叶えたいと思っています。



鈴木彦先生が大学のお仕事の前に必ず「音読」されている詩だそうです。

人の目は ふしぎな 目
見ようという心がなかったら 見ていても 見えない
人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心が なかったら 聞いていても 聞こえない

頭も そうだ
はじめから良い頭 悪い頭の区別が あるようではないようだ
「よしやるぞ!」と
心のスイッチがはいると
頭も
すばらしい はたらきを しはじめる

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように

(「心のスイッチ」 東井 義雄)